

CHOFUプラスチック・スマートアクション



調布市では本年度から3つのアクションにより推進する「CHOFU プラスチック・スマートアクション」により、プラスチックごみの減量やプラスチックごみの海洋流出防止に繋がる取組みを積極的に実施していきます。

取組みの概要

アクション1

市としての率先行動の促進
(市庁舎での取組み)

- 職員による率先行動
- 物品調達などでの取組み

アクション2

市民・事業者等との協働による取組み

- プラスチックごみの海洋流出防止につながる取組みの実践
- プラスチックごみの発生抑制
- イベント等におけるワンウェイプラスチック製品使用の削減

アクション3

東京2020大会を契機とした取組みとその他の取組み

- 東京都や東京2020大会組織委員会と連携したイベントでのリユースカップ等の促進を図る
- 環境省が行っている「プラスチック・スマート」活動への参加など、新たな施策展開の検討・実施
- 子ども向け環境教育の実施

海ごみを減らすために「身近な取組み」からはじめませんか

①「使い捨て」の生活習慣を見直して、できるだけごみを出さないライフスタイルを
マイバッグやマイボトルなど繰り返し使えるものを選び、利用しましょう。

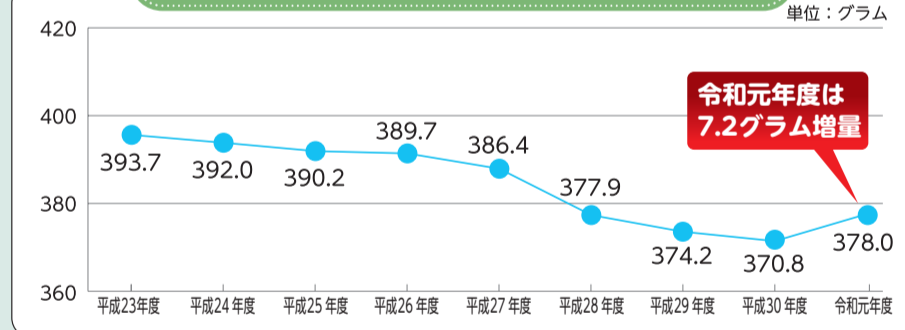
②ごみの「ポイ捨て」はやめましょう
ポイ捨てされたごみは、水路や川などを通じて海まで流れ、海ごみになります。ルールを守り、決められた場所に捨てましょう。

③街なかや河川敷などの清掃活動に参加しませんか
市では、多摩川や野川、調布駅前などでのクリーン作戦を定期的に行っています。川や海にたどり着く前に拾うことが重要です。

令和元年度調布市のごみ量について

ごみ減量のために
皆様のさらなるご協力が必要です

家庭系ごみ(市民一人一日あたり)の推移



令和元年度のごみ量は前年度比1,248トン増加し、61,393トンになりました。また、市民一人一日当たりの家庭系ごみ※排出量も、前年度比7.2グラム増加し、378.0グラムになりました。

燃やせるごみの約4割は生ごみです。令和元年度に行った組成分析では、燃やせるごみの6.4%が、まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」でした。もったいない「食品ロス」をなくし、ごみを減らしましょう。
※家庭系ごみ = 「家庭系燃やせるごみ」 + 「燃やせないごみ」 + 「有害ごみ」 + 「粗大ごみ」

平成30年度リサイクル率全国第8位

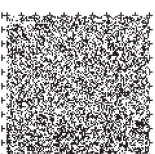
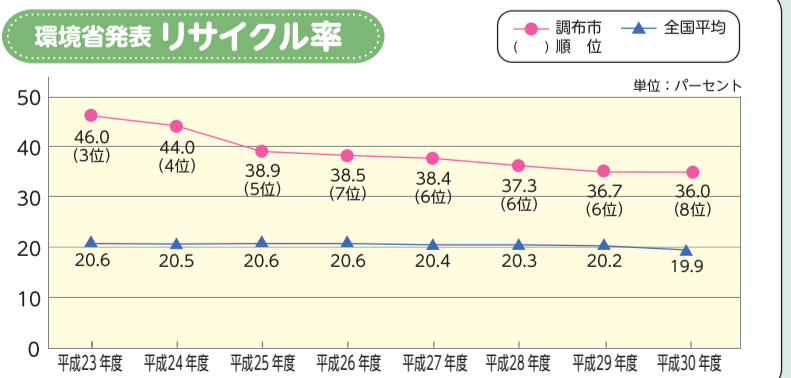
環境省の「一般廃棄物処理事業実態調査(平成30年度実績)」によると、平成30年度の調布市のリサイクル率は36.0%で、平成29年度と比べ0.7ポイント低下し、人口10万人以上50万人未満の全国238市の中では第8位(前年度第6位)となりました。

リサイクル率は依然として全国トップレベルではありますが、近年は減少傾向にあります。これは古紙の収集量が減ったことが大きな要因であり、排出抑制の観点からは必ずしも悪いことではありません。

しかし、令和元年度に行った組成分析の結果、分別が正しくないものが、燃やせるごみには20.1%、燃やせないごみには28.1%、容器包装プラスチックには12.6%含まれていました。ごみの分別を正しく行うことでまだまだリサイクルすることができます。「混ぜればごみ、分ければ資源」を意識してリサイクルになお一層のご協力をお願いします。

ごみを正しく分別しましょう

環境省発表 リサイクル率



このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用のアプリなどを使って音声データを聞くことができます。